

「オープン・シェア革命」に学ぶ

青森県支部 理事 蒔苗 隆文



私は、青森県の歴史とマラソンをこよなく愛し、サプリメントと湿布を頼りに先祖代々受け継いできた畑と悪戦苦闘している、理事の蒔苗隆文と申します。生まれも育ちも弘前市。下北を皮切りにスタートした教員生活も、今年の4月、33年目を迎えます。

今年の干支といえば「虎」ですが、正確には「壬寅（みずのえ・とら）」と言い、新しい生命を孕み（壬）、秘められた命が胎動し発動する（虎）ことを表しているそうです。なんだか良い年になりそうな気がしているのは、私だけでしょうか。

さて、以前 NHK【クローズアップ現代+】で、「ダルビッシュ投手が！青学陸上部が！能力伸ばす“オープン・シェア革命”」というタイトルの番組が放映されました。ちなみに、「オープン・シェア革命」とは、アスリートが自分の武器であるスキルやノウハウなどをオープンにすることだそうです。勝負の世界では、自分に不利にならないよう、極力手の内を明かさないものだと思っていました。しかし、メジャーリーガーのダルビッシュ有投手は自身の変化球の投げ方を、箱根駅伝の強豪校である原晋監督率いる青山学院大学陸上競技部はトレーニング方法を、惜しげもなく YouTubeなどで一般公開していました。それは、他の選手たちがそのスキルなどを学んで進化するだけではなく、自身のスキルなどが整理され明確になったり、逆にアドバイスをもらったりすることで、自身も成長することができるからだそうです。その成長の好循環が、結果的に業界全体のレベルアップにつながっているようです。

さまざまな領域で広まり始めている「オープン・シェア革命」。ぜひ一人でも多くの方が、私達の輪に加わり、ともに学び、お互いに高め合い、発展していけることを心から願っております。

2022年1月4日